

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学・倫理学専攻

存在の共同体

狩野 将慶

茶からみる日本美学

館下 芽里

後期ハイデッガー思想における「無」についての

現代社会における「自己のあり方」

安藤 智美

考察

伊南 慈晃

レヴィナスのエロス論

小川 彩夏

ジャンケレヴィッチの『死』について

「あなた」の死へ臨むことについて

飯島 悠太

ベルクソン『意識に直接与えられた試論』第一章

「あなた」の死へ臨むことについて

山崎 理工

『心的緒状態の内的緊張の強さについて』講読

てー

立野 航平

―質と量の取違による問題

竹内 雄一

私という存在

永田 夏帆

モーリス・メルロ＝ポンティの『知覚の現象学』

弁証法的家族論

鳴海 宏平

における言語論について

レヴィナスにおける〈同〉と〈他〉の倫理

西川 健太

フランツ・ファノンにおける対抗暴力について

Sherben と動物

他者への寛容

鈴木 俊太

デカルト心身二元論とその相互関係についての

―実存論的分析をめぐるデリダ―

平井 貴大

考察

藤井 宏輔

ハイデガーにおける詩とトラークルについて

自由とバターナリズムの統合 リバタリアン・パ
ターナリズムの検討 藤田伊玖麻

想像力の観点から見た人間と動物の原因の違いに

死後の身体

田頭 佳治

ついて

矢野 刀麻

―献体、臓器提供という選択―

鳥井 愛子

現代における消極教育の限界と教育者の理想像

ものもの美の考察

井出 牧人

―ルソー『エミール』の教育論を中心として―

―柳宗悦の視点―

井出 牧人

死刑制度を考える

死の自己決定は正当であるか

大野 美紀

人間と動物の関わり方について

オランダの「安楽死法」と日本の積極的安楽死に
ついて

岡田 大和

マイノリティの権利行使・発展

功利主義における正と善の関係性について

小谷 一馬

人は何故、自ら死を選択しうるのか

寄付促進に向けたナッジの活用について

佐橋 奈美

人生の意義の解釈・生への推進力の考察

～九鬼周造における偶然性の概念を用いて～

清水あおい

全ての動物は平等な配慮を受けるべきか

広告と消費者の自律について

田中 優揮

プラトン哲学における対話の哲学的意義
他者への寛容
自由とバターナリズムの統合
リバタリアン・パ
ターナリズムの検討
フェミニズム倫理学から妊娠中絶へのアプローチ
死刑制度について
「終末期の医療における患者の意思の尊重に関する
法律案」の是非

カント倫理学における「法則への尊敬」

河野 歓喜

シンガールの飢餓救済論について

篠原 誠

人生の意味

白石 健太

教育人間学専攻

まど・みちお作品が子ども心に与える影響

石田華奈子

センス・オブ・ワンダーに関する一考察

川口 綾香

森のようちえんの参与観察を通して

神農 拳斗

家庭におけるサンタクロース体験が持つ人間学的意味

田村 友紀

思春期における挫折体験の人間学的意味

仲谷 昌浩

『落第忍者乱太郎』の魅力

中村 有里

読み聞かせの意味

西谷 美咲

声の力・場

松岡 果歩

少女はなぜいじめ行為に走るのか

松岡 果歩

—児童文学作品分析を通して—

松岡 果歩

ダイズニープリンセス像の変遷と自己形成

松岡 果歩

『源氏物語』六条御息所の生き様と死に様に関する一考察

水野 花穂

五味太郎の絵探し絵本『きんぎよがにげた』の研究

研究

—自己形成への影響を中心に—

山田 歩夢

「猫の物語」を読むことの人間学的意味

—宮沢賢治の作品を手がかりに—

山本 有起

幸福論における人間観の研究

—人間はなぜ走るのか—

梅澤 雄郷

—現代人における走るの意味の考察—

大西 晴香

「むなしさ」を問う

—V・E・フランクルにおける「実存的空虚」をもとに—

岸本 祐太

他者を理解することはどういうことか

—共感との比較を通して考える—

北田 由奈

理想的な「共感」を目指して

「生きること」の意味をめぐる考察

—自己・他者・かわり、そして死—

衣川 兆

—自己・他者・かわり、そして死—

関係に生きる

—死を巡るN・エリアスの思想をもとに—

現代における「聴くこと」「語ること」をめぐる一考察

—急ぎたてられることばを見つめ直す—

役割と自己呈示の関係性についての一考察

—E・ゴッフマンの理論を手がかりにして—

理解をこえた共感のあり方について

—E・ゴッフマンの理論を手がかりにして—

学校部活動におけるチームビルディングの有効性

—現代における非日常性の在り方とその意義—

—G・バタイユの「至高性」を手がかりに—

「成長」と「人とのかわり」をめぐる一考察

—デューイの理論を手がかりにして—

現代における非日常性の在り方とその意義

—G・バタイユの「至高性」を手がかりに—

「成長」と「人とのかわり」をめぐる一考察

—デューイの理論を手がかりにして—

部活動の教育的効果に関する一考察

—X高等学校の事例検証を手掛かりにして—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—X高等学校の事例検証を手掛かりにして—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

—現場教師の抱える問題点から考える—

自己肯定感に関する一考察

—学童期における大人との関係性に着目して—

善住 美穂

ネットいじめの「予防」と「解決」

—日常生活の人間関係を切り口にして— 高松 広夢

コーチングが選手にもたらす影響

—中学校、高等学校の部活動における褒めること・叱ることの実態とあり方— 林 希望

子どもの「仲間関係」を築くための支援のあり方

—BBS、学校ボランティアの活動経験から— 藤木 美輝

英語教育の意義と課題

—小学校から中学校への継続性に焦点を当てて— 船坂萌二花

明治時代と平成時代の父親像に関する一考察

—父親の「威厳」と親子関係に着目して— 村田英怜奈

テーマパークの経営戦略

—ディズニーリゾートの人気の秘訣とは— 吉崎 真由

「荒れる」生徒に対する教師の援助

—中学生に焦点を当てて— 鷲塚 浩

教師のバーンアウトに関する一考察

—組織的要因とサポートの在り方— 北村菜由佳

認められるということ

一生懸命さがもたらすものとは 大藪奈津佳

家族の死を乗り越えて生きていくとは

ありのままであること 岡澤智紗都 岡村 恵

ケアをすることは

—アロマセラピーの実践を通して— 小澤奈津美

自分の思いを伝えるということ、自分を理解して

もらうということ 寒 奈緒子

転校生の環境変化に伴う不安や葛藤への援助

過去の負の感情の理解とその浄化に関する研究 栗田 紗希

自然と生きる

—精神的支柱としての自然— 齋藤 里紗

「早生まれ」であることが人格形成に与える影響

—不安感と関連付けて— 重田あいら

自由に生きるには

—アドラー心理学を手掛かりにして— 鈴木 美穂

集団行動におけるリーダーの役割

—ストレス緩和と関連付けて— 竹崎 和哉

母親の存在とアイデンティティに関する研究

—アスペルガー症候群における相互理解について— 辻井 昌史

昔話の精神分析的解釈の試み

—日本の母親像の源流を探る— 番場 桃子

「生きる」を考える

—出生前診断といのちの選別— 井上 莉菜

臨床脳死判定、遷延性意識障害から考える人間の

より良い生活について 梅谷 龍

猪口 裕子 齋藤 観月

新林 恵弥

普通であることと生きづらさに関する研究

無意識の内容を探る 津田智恵子

自殺について考える 西村 拓実

ある程度成熟した人間にとっての変化 廣川みつき

自身の経験との比較から考えた摂食障害 福嶋 大生

森山 純貴

日本文学専攻

『古事記』三九番歌と四九番歌の繋がり 石川 達基

『万葉集』卷九・一七〇六番歌をめぐって 清水 由恵

『丹後国風土記』逸文「浦嶋子」歌詳解 砂田 和輝

『万葉集』卷九・一六七七番歌「竹葉」考 高橋 杢香

古事記五十七番歌の解釈に関わる部分についての 野上真悠子

考察 山本耕太郎

『古事記』における大国主像 吉川 益弘

—儒教思想の影響という視点から— 松尾芭蕉辞世の句における「夢」の解釈について 姥谷 和哉

『方丈記』における五大災厄の歴史的考察 加藤 鞠奈

『大鏡』における和泉式部の歌人像 川西 琴乃

『大鏡』論 齋藤麻莉奈

—「夢」の分析を中心に—

齋藤麻莉奈

- 『大鏡』における雅楽 その考察 鈴木 暁海
都々逸からなにが見えるか 高嶋 美里
『大鏡』の批判性への疑問 道家 優
道長は仏なのか
—『栄花物語』との比較でみる『大鏡』道長の人物
像— 中 志保璃
- 『大鏡』における藤原忠平伝の特異性 中島 蒼平
『大鏡』花山天皇出家譚の特異性 羽田 絵美
『大鏡』における藤原安子論 藤村 咲
『大鏡』における語り手とその妻の役割 松村 拓哉
井原西鶴『万の文反古』巻三の二「明て驚く書置
箱」から考える後家の「物語」 松村 祐実
冲方丁『マルドウツク・スクランブル』論 久語 章伸
岩井俊二『リレイ・シユシユのすべて』論
—劇中の背景音楽からの分析— 武地 雄也
山崎豊子の「白い巨塔」と日本社会 朴 賢洙
国木田独歩「運命論者」にみる運命論と人間性の
意義 青谷 真朱
大岡昇平『八月十日』からみる終戦の問題 井沼 衛
高畑勲『かぐや姫の物語』論 加藤 庸子
与謝野晶子の女性論について 菊元 菜穂
筒井康隆「朝のガスパール」「驚愕の曠野」論 住野 裕樹
堀辰雄『風立ちぬ』論 生きるとはどういうこと
なのか 高平 夕貴
- 朝井リョウ「桐島、部活やめるってよ」から見る
スクールカースト 竹智 千裕
金城一紀「GO」論 土岐 陽子
福本伸行「カイジ」論 中池 紀揚
森絵都『つきのふね』に見る非行少女の姿
中沖 有梨
星新一「セキストラ」に見る性欲と暴力の関連性
野川 楓
芥川龍之介「羅生門」論 蓮尾 愛香
—生きるということ—
野坂昭如「火垂るの墓」論 廣江 菜月
—メディア変化による子どもの問題の消去について—
『イノセンス』に見る押井守の身体論と他者性 古澤つぐみ
芥川龍之介『トロッコ』へのもうひとつの視点 堀家 義弘
『るろうに剣心』の〈不殺の誓い〉が伝えるもの
とは 安岡 諒
宮崎駿『風立ちぬ』零戦と堀越二郎の描かれ方に
ついて 入江 真之
坂口安吾作品研究 評論「墮落論」などについて 倉 豊
麻耶雄嵩論 井上 康征
—現代本格ミステリと「真相」—
火野葦平論 赤野 洋史
—戦後から再び戦前へ—
- 姫野カオルコ『レンタル（不倫）』論
—「ふつう」への懐疑— 猪飼真利奈
今野雄二論
—クイア文学の可能性— 大谷 愛子
小川洋子『ドミトリー』論
—欠損する身体をめぐる— 岡田 絵美
坂口安吾「戦争と一人の女」論 小木曾文夏
安部公房文学における変形 荻堂 志野
「所有」と「関係」から見る桐野夏生『残酷記』 勝野 真子
湊かなえ『夜行観覧車』論 黒羽 深季
—勝利と解放のための殺人—
森見登美彦論 田中 智陽
—「夜は短し歩けよ乙女」に仕組まれたもの—
夏目漱石『行人』論 松浦 歩美
—引きはがせない自意識—
多和田葉子『献灯使』論 金 昇淵
—震災後風景の文学表象—
柴幸男『わが星』論
—平面《言葉》に潜む立体《舞台》の構造— 生駒 怜子
志賀直哉「灰色の月」論 伊部 愛理
三島由紀夫『金閣寺』論 大石 真実
広津柳浪「雨」論 川野 成美
梅崎春生「桜島」論 北村 友一
林芙美子「晚菊」論 木下 遥
遠藤周作『わたしが・棄てた・女』論 小田 有美

- 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論
—旅の前後— 後藤 杏子
- 有島武郎「二房の葡萄」論 城井 悠翔
- 大岡昇平・初版『俘虜記』
—「いかにして自分が捕へられたか」を（精密に）語る— 谷川 直美
- 室生犀星『あにいもうと』論
—兄妹にあらわれる「赤座一家」の家族像— 内藤 悠
- 坂口安吾「戦争と一人の女」論 野田 知見
- 村木道彦論
—現代歌人文庫『村木道彦歌集』にみる思想と歌風— 村松 昌吉
- 安部公房「三つの寓話」論 山内 萌子
- 谷崎潤一郎『春琴抄』
—特質的文体における「大阪人」と純邦楽の影響— 横山 資樹
- 井伏鱒二「遥拝隊長」論 吉田 風太
—社会へのアイロニー— 藤本 愛美
- 『源氏物語』の女性登場人物論 藤本 愛美
- 日本文化情報学専攻
- 『狭衣物語』論 三ツ井詩織
- 抜文句研究 伊藤 祐希
- 「鼠よけの猫絵」の変遷 今中 愛
- 有卦絵の研究 大山 美月
- 『風流姿絵百人一首』の挿絵からみる百人一首 勝山 愛美
- 江戸時代の兔観
—歌川広重画「月下木賊に兔」から— 柴田 遥奈
- 「宮城野信夫の敵討ち」物語の変遷 下澤 祐紀
- 上村松園の美人画と浮世絵 谷川 莉奈
- 『仮名手本忠臣蔵』における「お軽」の実像 藤井 晶帆
- 酒吞童子説話を題材にした浮世絵についての考察 吉田 綾音
- Twitterによる日本語研究 柏木 隆嘉
- 新聞を資料とした日本語と韓国語の対照研究 甲斐智栄子
- Googleを用いた外行語の調査 浅野 有香
- コーパスによる「加える」とその類義語の研究 稲内 裕美
- 宮沢賢治の童話の表現について 宇部 瑞萌
- 『形容詞+です』文に関する研究 梅林 大輔
- 形容詞型接尾辞の研究 大谷 遼
- 京都府南部における若年層話者の敬語の使用実態 片岡 茉友
- 擬態語「わくわく」とその類義語の比較 笹本 明花
- 書き言葉における「ら抜き言葉」について 柴田 好葉
- 日本語教育用語彙表における外来語について 澁谷まゆら
- 外来語「ケア」とその類義語について 西村 優子
- 日本語におけるドイツ語系外来語の使用実態につ
いて 林 知奈美
- 日本語におけるジェンダー表現について 松井美沙子
- 外来語表記のゆれに関する研究 溝口 晶紀
- 動詞「溢れる」とその類義語に関する研究 湯浅 文香
- 学校教育におけるデジタル朝読書の可能性 尾崎 理奈
- 特別支援教育におけるデジタル教科書・電子書籍
の可能性 高畑 有里
- 探究型学習に供する学校図書館
—学習・情報センター機能に着目して— 田草川みなみ
- 電子書籍における「版」の考察 竹嶋 龍仁
- 購書空間における電子書籍のディスカバレッジ
ティ 竹本 正史
- 公共図書館における電子書籍を活用した多文化
サービス 野木ももこ
- デジタル教科書が変える学校教育 早川 育実
- デジタル絵本と公共図書館 福田 菜摘
- 日本社会における書店の活性化と電子書籍販売 松田麻由香
- デジタル・ネットワーク社会における自費出版の
変容 向井 惇子
- 文化資源の観点からみた電子コミックの収集と保存 村井 燦
- 泉鏡花「外科室」論 山本 郁子
- 宮崎駿『千と千尋の神隠し』論 蟻岡美奈子

桂米朝「饅頭こわい」論

—落語からみる笑い—

民子論

与謝野晶子『みだれ髪』と〈紫〉

安房直子の作品における「あわい」論

村上春樹『1973年のピンボール』考

前近代日本の対外意識から見る日韓の歴史論争考

察

中世の火葬

中世後期の夢信仰

—『多聞院日記』における夢を例に—

中世京都の寺社門前と民衆

中世後期の婚姻

—山科家・今川氏を中心に—

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

中世後期の比丘尼御所

—『看聞日記』を中心に—

中世後期における陰陽道

—盛衰を巡って—

中世の春日社「社家」組織について

中世の酒について

—製造・販売・消費—

和泉国日根荘の領主支配

—『政基公旅引付』にみる家政職員役割を中心に—

幕末以降の伊那における平田国学者の動静

察

近代成り期における平等主義的民衆運動

—神代復古誓願運動

近世後期における遊女

—大坂新町遊郭とその周縁部に生きた女性—

近世における日朝相互認識の比較

寺社参詣と旅の大衆化

—近世後期京都を中心に—

一八六七年パリ万国博覧会における幕府の出品

明治前期天理教に見る民衆宗教における「救い」

二重折上格子天井にみる江戸初期の朝暮関係の考察

江戸時代の化粧意識の変化について

鳥山石燕『今昔画図続百鬼』の構成方法について

東北・石巻地域における海運業のありかたについて

尾張国北部の寺子屋の実態について

岩倉具視の国家観

—天皇親政の辺縁—

貴族による憲法の「民主化」

—近衛文麿の大日本帝国憲法改正作業「天皇絶対」

でも「ポピュリズム」でもない第三の道を目指して—

安藤 悠子

伊藤 拓未

上井つきこ

上原 実季

大堅 千怜

小川しおり

島村 久生

新野 晃平

寺内 結香

名合 藍

橋本 直樹

三浦 怜馬

佐野 巨典

蔵本 篤志

日本史学専攻

幸田文『おとと』論

宮尾文弥子

—相聞歌から挽歌へ—

三橋 彩子

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

『今昔物語集』からみる文化の受容

牧 亜裕

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

勝野 文菜

近世後期における遊女

上井つきこ

『今昔物語集』からみる文化の受容

三井 大輔

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

『今昔物語集』からみる文化の受容

三井 大輔

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

坂田 大和

近世における日朝相互認識の比較

上原 実季

幸田文『おとと』論

宮尾文弥子

—相聞歌から挽歌へ—

三橋 彩子

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

『今昔物語集』からみる文化の受容

牧 亜裕

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

勝野 文菜

近世後期における遊女

上井つきこ

『今昔物語集』からみる文化の受容

三井 大輔

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

坂田 大和

近世における日朝相互認識の比較

上原 実季

幸田文『おとと』論

宮尾文弥子

—相聞歌から挽歌へ—

三橋 彩子

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

『今昔物語集』からみる文化の受容

牧 亜裕

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

勝野 文菜

近世後期における遊女

上井つきこ

『今昔物語集』からみる文化の受容

三井 大輔

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

坂田 大和

近世における日朝相互認識の比較

上原 実季

幸田文『おとと』論

宮尾文弥子

—相聞歌から挽歌へ—

三橋 彩子

永田和宏・河野裕子論

三井 大輔

『今昔物語集』からみる文化の受容

牧 亜裕

村上春樹『1973年のピンボール』考

室町・戦国期における風流と御霊祭

中世後期京都における水害の様相とその影響

勝野 文菜

近世後期における遊女

上井つきこ

一八八〇年代陸海軍対外情報活動の転換

―統合参謀本部構想を中心として― 伊豆蔵和貴

安らぎを求め続けた男

―ジヨルジュ・ピゴアの日本女性観とその変化―

大神 鮎美

平岩愼保の保守主義

オシヤレが花開く一九七〇年代

―女性たちは何を思ったのか― 喜友名沙紀

スラムダンク再評価

―桜木花道はなぜ更生したのか― 倉田 康暉

一九七〇年代から八〇年代におけるオカルトブームの諸相

―メディアの果たした役割を中心に― 佐藤 匠

「野球をやりたいからやるのである」

―異色の野球人三宅大輔― 定梶 郁央

大正後期の政界と元老再生産

―松方正義・牧野伸顕・平田東助を中心として―

十河 和貴

立憲同志会の性格と方向性

―仲小路廉の視点を中心に― 谷川 瑞紀

犬に魅了された人々

―近代日本史における人と犬の関係史― 畑澤 鈴華

参議江藤新平の多角的理解

―明治六年政変・対外観・小野組転籍事件―

深井 純

大正期の華族生活における「公」と「私」

―大正八年『有馬頼寧日記』を事例に― 藤川 瞭

「個性化教育」による心の歪み

―一九六〇～一九八〇年代の子どもたち―

室崎 里奈

占領期におけるGHQの文化財保護について

―その変遷と意義― 岡庭 三佳

初期社会科教育実践史研究

―永田時雄「西陣織」実践の分析を中心として―

石川 志歩

「ゆとり教育」について

昭和天皇の政治関与について 小川 雅史

モダン・ガールと近代女性解放の相関性に関する

考察 奥野 竜矢

韓流ブームにおける影響とその現在について

加納 理紗

戦時下における雑誌メディアの統制と責任

―雑誌『文藝春秋』を中心として― 小枝 祐太

地域社会における皇室

―大正期、長野県における御成・行啓の受容を通して―

小林万里子

戦時体制形成期の図書館

―国民精神総動員文庫による「知」の選択的平準化―

齊藤 涼

「JAZZ」がもたらす影響

―社会的側面と音楽的観点から― 鈴木 大元

ルース・ベネダイクトの捉えた日本

―日本人の国民性についての考察― 高井 亮平

産業革命期、京都市の夜学校の実態

大正五年の南洋観光団 竹市 早織

藤新 朋大

救護法の公共性

藤谷 慈稀

戦後の教育勅語と旧教育基本法

藤原 武尊

太平洋戦争期における精神主義による民衆の戦争

動員 八木 英樹

本末関係からみる祇園御霊会

永享の山門騒乱 藤島 早紀

加賀の一向一揆について

―文明・長享期を中心に― 西 淳平

浄瑠璃寺と本寺

赤島 一平

中世における浄土宗の動向

稲田 琴美

「三木合戦の発端（別所氏離反の理由）」に関する

考察 稲端 優希

―反信長勢力との関係性を通じて―

岩本 晃一

酒屋土倉役について

大江 巧馬

近江保内商人の商業活動について

北村 啓輔

村上海賊について

客野 寿和

永享期今川氏と駿河

鈴木雄一朗

少弐・宗体制の崩壊時期と要因

辻 博喜

中世後期雅楽の動向について

豊田 愛

―戦国時代の楽人の一年を中心に―

羽山 努

「石山合戦」開戦過程の考察

松本 早織

中世寺院の童姿

星野 樹

修学旅行地としての京都

―戦前・戦後の比較を通じて―

大橋 舞貴

スポーツのモダニズム

―極東選手権大会を中心に―

岡藤夕希也

敗戦後、徳島県の家庭料理

―『徳島新聞』を史料として―

明治神宮競技大会論

亀井 雅人

考古学・文化遺産専攻

近現代における戦争記念碑の分類と考察

一九六〇年代のうたごえ運動 京都を中心に

興野 大樹

縄文研究における図像解釈上の確認バイアス

—長野県松本地域からみる石碑と人々とのかわり—

雑誌『旅』にみる日本統治下における台湾の観光

角田 典子

縄文土器底部圧痕変移の意義

末松万由子

奈良県宇陀市における鳥居の考察

旅行について

角田 典子

縄文編布製作技法の実験的考察

松原 奈緒

—鳥居の分類と地域との関わり—

一九四〇年代後半における沖繩本島と宮古群島の諸相

津波 舞

弥生時代の独立棟持柱建物

渡邊 裕穂

一括出土銭の出土状態

赤瀬川原平のパロディ活動とその評価

中西 沙織

蓋形埴輪の製作技法の変遷

井内 紳基

—その役割を考える—

澤本頼雄『英国駐在武官補佐官英国情報報告原稿』について

細萱 洋佑

畿内地域における葺石の様相と展開

小平 典子

出土状況からみる六道銭

『ひまわり』の輝き

上山 陽子

—前期古墳を対象として—

才治 朋子

—伏見城下町出土の銭貨を中心として—

『風俗画報』にみる明治期の子供遊び

大矢 京子

弥生時代後期の河内平野における甕の炊事法

三浦 悠葵

—紙屋川と御土居の袖—

名古屋汎太平洋平和博覧会と冀東・冀察

酢谷 仁美

近畿における弥生時代の鉄鑛生産

山崎 京香

—伊川撃壤集—での用例に注目して—

第一高等学校における音楽批評の始まり

西澤 忠志

弥生・古墳時代における京都府下の木製農耕具

青山 悦子

—三国時代の伴狂の観念と実態—

昭和一〇年代における南方への経済的進出

西野 拓哉

平安末期から鎌倉時代の日本庭園の景観について

追間 圭佑

—死者をなぜ結婚させるのか—

—「芸術」音楽の始まり—

西澤 忠志

瓦の導入された城の役割について

戸田 龍蔵

—中国における冥婚習俗—

—外交的側面から見る台湾拓殖株式会社活動—

西野 拓哉

—安土築城以前の畿内を中心とした城—

仲井 俊一

—中国語の「耐心」を出発点に—

—「non-uon」に見る「外国人コンプレックス」

濱名 翔平

近畿を中心とした出土弓の考古学的考察

中村 文佳

—中国語の「耐心」を出発点に—

—一九七〇年代〜八〇年代—

村上 詩織

呪符木簡の変容と展開

濱岡 宏理

—中国語の「耐心」を出発点に—

唐宋代の大文化

―「猫児」「烏龍」と女性たち

大橋 里佳

清代皇帝の暮らしと料理の変遷

谷川 侑菜

『三国志』から読み取る曹操の人物像

鶴崎 夢子

中国の花文化

―曹操の思考の変化を中心に―

濱本 悠里

中国の爆買いにおける思考について

神田 一輝

『人虎伝』と『山月記』の比較

宮内 真穂

東洋史学専攻

隋の時代背景と科挙の関係性について 馬場遼太郎

五世紀における中国南北朝と東アジア

阪野 智章

『春秋』の史料的性格に関する一考察

青木 拓哉

秦における文字の変遷

浅田 有香

漢代画像石における瑞祥図の地域的差異および時

喜文字大雅

志怪小説からみた六朝文人の一側面

西村 嵯千

西周「官制」の再検討

松井 亮

遣唐使の航路と東アジアの外交関係

宮川 哲

清朝末期における人材育成制度の近代化について

太田 修弘

中国におけるムスリマと女学について

奥村 一穂

刑罰制度から紐解く中国近世の裁判

―死刑制度を中心とした追求―

小城 玄揮

南京事件の研究

中国の美人観

―唐代を中心に―

嶋岡 彩芽

明代福建の男色文化について

帯飾板・帯金具から見た匈奴と漢の相互関係

明武宗朝再考

―豹房を中心として見た―

竹内 綾

清代台湾における「仲介者」から見る社会形成

陸遜伝

曹魏中後期における軍の変遷

―都督制度から見た一考察―

森 若菜

千國瑛莉果

西村 翼

富田 悠莉

中西 亮

台湾市場における日本音楽の動向

中国各地で増加する鬼城

中国経済と習近平政権から探る汚職腐敗国家中国

中国の自家用車のニーズの変遷と未来

中国若者のライフスタイル

―月光族の消費動向

朱子学・陽明学から藤樹学へ

中国における蒼井そらの人気とウェイボー(微博)について

上野 零人

大久保紘子

大林 遼平

一〇八

日本のアニメは中国を変えることができるか

中国のサッカー事情

『雨傘革命』から見る中国・香港の一国二制度

中国の電動自転車事情

中国におけるキャラクター文化の受容

―サンリオの中国進出に焦点を当てて―

現代中国新語からみる現代中国社会の変容

日系企業の中国進出の課題

―内地地域の展望―

西大門刑務所と白凡金九

―大韓民国の歴史認識を中心に―

朴正熙軍事政権時代におけるプロテスタントの広がり

―開発独裁と民主化―

伝統文化の保存と観光活用との関係性

―安東・河回別神グッタルノリを中心に―

韓国カフェ文化の発展

―市場競争と多様化―

日韓の美容整形事情

―アンケートから読み解く両国の考え―

韓国のノンバーバルパフォーマンス・NANT A

の海外進出

韓国の徴兵制

―国防の義務が抱える矛盾―

大松 絵美

梶原 周太

岸 敬也

中川 大介

藤崎 真菜

森内 友紀

池田 大樹

伊藤 真人

大島 康佑

坂下祥太郎

首藤 真美

高須賀あい

寺本 早織

中島 勇樹

韓国語の敬語表現

↳ドラマからみる敬語の役割と人間関係

長野 萌

二〇〇二年日韓W杯が与えた政治効果

平山 拓哉

周時経における「形態主義」表記の萌芽

吉積 皓平

韓国語の飲酒文化

↳酒の消費実態と大学生の飲酒行為

陳 燕鳴

現代中国における出稼ぎ労働の質的変化

大端 秀志

「国立故宮博物院」が見せるもの

國弘 遥

『三国演義』に関する論評について

↳雑誌『新青年』上の白話論争をきっかけに

酒井 悠樹

台湾における本土言語教育の行方

↳言語教育政策と実態をもとに

田中 和音

現代中国における口コミの動態的考察

藤田 哲也

現代中国の働き方

藤森 智哉

日台間における「親日」イメージの齟齬

↳日本のメディア報道と台湾若年層のライフヒストリーから

三好 風

在日コリアン高齢者について

↳「故郷の家・京都」を中心に

朝田 絵莉

韓国徴兵制における良心的兵役拒否と代替服務制度

今村 昌孝

日朝医学交流史研究の現状と課題

↳三木栄『朝鮮醫學史及疾病史』の検討を中心に

小針 皆子

日韓学生が感じる相互認識

↳アンケート調査から見える日韓関係の現状と将来展望

近藤 夏実

韓国ソウル市の廃棄物問題

↳行政・市民団体の取り組みと今後の課題

庄司 理恵

現代韓国女性の結婚観の研究

↳配偶者選択条件とともに

西田 玲奈

日本の大学における韓国・朝鮮語教育

K-POPから見る日韓

↳K-POPの過去現在から未来を考察

橋本 優奈

北村の伝統的な町並み保存とその観光地化

中国の食文化から見る食事作法について

化粧品産業から見る日韓マーケティングコミュニティ

ケーションの比較

中国都市部と農村部における中等教育の現状と格差

日中韓の化粧品に対する価値観の比較

中国のファッション雑誌があたえる影響

中国と日本の八〇后・九〇后が抱くお互いのイメージ

中国と日本の八〇后・九〇后が抱くお互いのイメージ

中国と日本の八〇后・九〇后が抱くお互いのイメージ

中国におけるプロ野球定着への課題と策

船戸 貴嗣

事故対応から見える韓国の課題

↳セウォル号事件を中心に

中国語と日本語の「すれ違い」

英米文学専攻

丸山 紗代

廣部 豪

久保田真優

佐藤 万記

田中 聖奈

西村誠太郎

増田 梢

榎田 優貴

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

小田桐久典

『嵐が丘』研究

— キャサリン・アーンショウの肉体と魂の分離 —

河島 菜瑠

『ハワーズ・エンド』研究

— ‘Only connect’が持つ意味とマーガレットの役割

北 英薫

E. M. Forster, *Howards End* 研究

— Leonard Bast きめづいて

Jane Eyre 研究

— ヴィクトリア朝に生きる女性の葛藤

Diana Wynne Jones, *Howl's Moving Castle* 研究

— 少女はどのように成長するのか

ダンテイズムについての考察

— オスカー・ワイルドの考えるダンテイズム

近江 祥太

Oscar Wilde, “Lady Windermere’s Fan” 研究

岡崎 文乃

The Picture of Dorian Gray 研究

— バジルとドリアンの死

「ヴェニス商人」から紐解くシェイクスピアの

宗教観

Oscar Wilde, *The Picture of Dorian Gray* 研究

— シビル・ヴェインの死

Oscar Wilde の童話における個人主義と利己主義

野上このり

George Bernard Shaw の *Pymalion* における言

語と社会

先山 史也

Conan Doyle の *The Hound of the Baskervilles*

における Sherlock Holmes の人物造型

— 視点と語り

Romeo and Juliet のアダプテーションWilliam Shakespeare の *Romeo and Juliet* の悲

劇性

— 劇構造の観点から

Oscar Wilde の *Salomé* における月のイメージと

女性観

William Shakespeare の *Romeo and Juliet* にお

けるインターネットの演劇的効果

William Shakespeare の *Romeo and Juliet* にお

ける死のアレゴリー

George Bernard Shaw の *Pymalion* における結婚

片田 賢志

Alex Shearer の *Sea Legs* における幸福の概念

岸田 海紅

Peter Pan の不安

— *Peter and Wendy* に関する研究William Shakespeare の *Twelfth Night* にお

ける異性装の役割

Oscar Wilde の *The Picture of Dorian Gray* にお

ける同性愛の表象

William Shakespeare の *Hamlet* におけるハム

レットの成長過程について

William Shakespeare の *Antony and Cleopatra*

における性と死の関係

William Shakespeare の *As You Like It* における

ロザリンドの道化性

Jane Austen の *Pride and Prejudice* における喜

劇性と風刺

William Shakespeare の *Twelfth Night* における

異性装とジェンダー

William Shakespeare の *The Tragedy of Hamlet,**Prince of Denmark* における女性観

— オフィーリアの分析を中心に

William Shakespeare の *The Sonnets* における

美の表象

William Shakespeare の *Hamlet* における「霊

魂

William Shakespeare の *Romeo and Juliet* にお

ける恋と男性性の関係をめぐる考察

William Shakespeare の *Macbeth* における欲望

の矛盾性

William Congreve の *The Way of the World* にお

ける機知の特性

J. K. Rowling の Harry Potter シリーズにおける

ヒロイズム

William Shakespeare の *Romeo and Juliet* にお

ける言葉遊び

William Shakespeare の *Macbeth* における自然

横尾 雅大

William Shakespeare の *Romeo and Juliet* にお

ける死の表象

吉川 貴史

Oscar Wilde の <i>The Picture of Dorian Gray</i> における男同士の関係	吉村 太一	The Thematic Significance of Marriage in <i>Little Women</i> by Louisa May Alcott	中邨 友佳	<i>The Sun Also Rises</i> におけるロスト・ジェネレーションと現代	佐合 志保
William Shakespeare の <i>Othello</i> におけるイブの悪役像	森本 夏海	主人公マリーコのアイデンティティ	森下 佳織	<i>The Color Purple</i> から読む黒人女性の解放	柴田 絢香
Gender Roles in 20 th -Century London: A Study of Mrs. Dalloway by Virginia Woolf	大西 祥平	— <i>The Left Hand of Darkness</i> にみる性	相本 絵美	主人公と double はなぜ死ななければならぬのか	—“William Wilson” と “The Fall of the House of Usher” を中心として
The Study of Jemubhai and Bijui's Immigration in <i>The Inheritance of Loss</i> by Kiran Desai	浅川 由衣	—ホールデンの承認欲求をめぐって	赤井 真史	<i>The Sun Also Rises</i> における移動性の考察	鈴木 智士
The Discomfort of Knowing Two Cultures for Gogol in <i>The Namesake</i> by Jhumpa Lahiri	江間米亜梨	<i>The Color Purple</i> のセリーの変化に見るウームニズム	池上 侑加	— <i>Brave New World</i> と「シェイクスピア」の考察	鈴木 有美
Feminism in L. Frank Baum's <i>The Wizard of Oz</i>	木村 侑加	<i>Their Eyes Were Watching God</i> におけるジェニーの自己実現	大小田 紀子	“The Fall of the House of Usher” における内なる狂気と <i>Eureka</i> の世界	竹渕 彩
Interpreting the Madladies from Jhumpa Lahiri's Short Stories	谷村エイシー愛子	—アルファベットからジェイニーへ	大小田 紀子	“Hop-Frog” から読むポーの愛と復讐	田中 希美
Identity Development for Immigrant Families in the US in <i>The Namesake</i> by Jhumpa Lahiri	三井 香	ピコララの母ポーリーンに見る	大小田 紀子	“Breakfast at Tiffany's” におけるセクシュアリティ	西山 純礼
Morality and Hedonism in <i>The Picture of Dorian Gray</i> by Oscar Wilde	津村 好香	一九四〇年代の黒人コミュニティ	加藤 優菜	「ニューヨーク三部作」における赤いノートの役割と効果について	藤田 峻介
The Implication Culture Clash Can Be Overcome in <i>The Joy Luck Club</i> by Amy Tan	原田 稔彦	—「青い眼がほしい」から読み解く	加藤 優菜	<i>The Great Gatsby</i> における語り手の存在と役割	室田純一郎
The Evolution of Coming-of-Age Novels seen in <i>The Perks of Being a Wallflower</i> by Stephen Chbosky	坂田 有沙	Herman Melville “Bartleby” に見る	川崎こはる	<i>The Great Gatsby</i> にもたらされる女性と移民	山岸 汀
		ウォール街にある価値観の受け入れと拒否	北川沙也那	“Breakfast at Tiffany's” に見る、感覚を操るカポーティ	山下 勇次
		<i>Slaughterhouse-Five</i> における不条理と距離・時間の関係	木村 萌子	—孤独な人物群と色使い	山村さつき
		『ニューヨーク三部作』におけるアイデンティティの転移	小池 佑歩	ハックルベリー・フィンの自律的良心の確立	山村さつき
				『アラバマ物語』から見る一九三〇年代アメリカの黒人差別について	吉岡 賢人

西洋史学専攻

3、4世紀における古代ローマ帝国の変容

加藤 賢

現代における「ケルト」人アイデンティティの高揚

―ブルターニュ・アイルランドの視点から―

園田 洋平

近世ヨーロッパの女性と魔女

―彼女たちはなぜ魔女にされたのか―

末期オスマン帝国におけるムスリムとアルメニア

人およびギリシヤ人の関係の変遷

古代ギリシヤにおける戦士に関して

―ペルシア戦争時期を主に―

移民からみる現代フランス国家の移民政策の問題点

―マグレブ移民を中心に―

中世カトリックの聖地巡礼

―サンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼から見る民衆の信仰と精神―

中世イタリア商人と情報管理

―リテラシーと商業技術の発達からみる―

カーニヴァルからみる笑いについて

13世紀イングランドにおけるロビン・フッド伝説の受容

―国王と農村世界の狭間で―

中世後期ドイツ都市における紛争解決と暴力

―ニュルンベルクを中心に―

中世西洋社会における魔術の起源と変遷について

近世オランダの繁栄と衰退

―オランダはなぜ18世紀に停滞を見せたのか―

アイスランドにおけるトール信仰

―辺境の実力社会の中で―

南フランスにおけるカタリ派異端の信仰

市民宗教の効果

―アメリカ国民へ浸透する影響とは―

オットー・パウアーの民族自治論

英領期インドの土地政策について

―20世紀初頭ベンガル地方のザミンダールを事例として―

イブン・バトゥータを通してみるオスマン帝国の繁栄

アメリカの歴史におけるボスとは

―タマニーホールを題材に―

初期キリスト教における異教との境界

―墓地から見る宗教的多様性―

Original Fisk Jubilee Singersの成功とその意義

―奴隷制廃止直後の社会における黒人合唱団の商業的知見―

リソルジメント運動とイタリア国民形成

―イタリア人はいかにしてイタリア人に成ったか?―

ヴィクトリア時代のガヴァネスたち

―ガヴァネスの真の姿を探る―

19世紀末から20世紀初頭アメリカ社会における価値観の変容と消費社会の成立

一九二〇年代ドイツにおける失われた世代に関する考察

―米国との比較を中心に―

イタリアに巣食う悪魔

―マフィア―

脱工業社会における余暇社会とは

―人々の余暇観の変遷と現代の諸問題から見る今世紀の余暇活動の在り方―

近代競馬の歴史と賭博観の変遷

自主規制にみるメディアと社会的権力との関係

―ナチズムを事例にして―

日独における過去の克服と政治参加意識

カタルーニヤの可能性

ハンナ・アーレントに対するユダヤ人の誤解

西洋近代史から学ぶメディア・リテラシー

イギリスにおけるユースカルチャーの興隆と影響

アメリカから見る現代の宗教と政治

福野 聡美

山本 莉菜

多喜荘英朗

古田 裕之

松本 章太

堀澤健太郎

武田 加織

寺尾 匠吾

西山 秀人

内山 倫史

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

梶原 正志

加藤 将也

早川 明郎

山口 昌利

コンテンポラリーダンスの特質

―権力と身体の間わりのなかで― 湯澤 紗生

20世紀のヨーロッパ再編による歴史教育の変化

渡邊俊一郎

移民・多文化主義・人種主義

―戦後イギリスの経験― 高岡 夏実

帝国からの独立

―戦後イギリスの経験― 田辺 陽一

スコットランド独立運動―イギリス人とは何か

西澤 早織 徳光 英里

文化芸術専攻

SNSの定着化について

―mimiを軸に考える― 伊吹 愛香

現代の若者のことば

太田 翔平 花言葉

ホッケ―競技における言葉の必要性

要石里沙子 方言被差別意識から見る方言教育

カタカナ語と和製英語の氾濫について

河合 遥香 新競馬時代

お守りの文化

北尾 彬 夢と現実の間

スペイン語の言語状況

小寺 理佳 「よい広告」とはなにか

様々なキャッチコピーについて

小中菜摘美 身体表象に於ける支配

ことばと思考の関係からみる、異文化間コミュニケーション

異文化間コミュニケーション 高比良京太郎

ケースション

酒井 麻里 刑務所から見る黒人差別

オタク文化が生んだ新語

「なぜ萌えでなくてはならなかったのか」

モノのネーミングが及ぼす影響とその効果 重松 優里

―東アジア学生の英語学習への提言―

高岡 夏実

関西共通語の存在の是非

田辺 陽一

若者言葉について

徳光 英里

人を惹きつけるネーミング

中藺菜々子

日本におけるあいさつの変容について

福下 泰平

文字の持つ印象効果とその活用

前田 可菜

グローバル社会における人材像

村田有結実

―ドイツニ―世界の分析から―

山本すみれ

「よい広告」とはなにか

山本 勇樹

身体表象に於ける支配

栗野 梨恵

異文化間コミュニケーション

大田 舞

刑務所から見る黒人差別

國末 奈々

―マルコムXの生涯を辿って―

真田 万希

『深い河』における救いの徴

竹本みゆき

第二言語としての早期日本語教育

―絵本「あのね、サンタの国ではね」を用いた教育実践―

多様化する生活の中での日雇い労働という選択肢 堀内 雅貴

シャシンのチカラ―モノの価値の再発見と挑戦、

富士フィルムを例に― 池田 光

現代を生きる日本人が向き合うべき異文化理解と

異文化間コミュニケーション 大島 咲希

―文化の摩擦を生み出さないために―

マリ―アントワネット ファッションとともに

生きた一生 小倉 史歩

聖書と科学 信仰の科学者 河南 薫

中世のフェミニズム・アート 女性芸術家ヒルデ

ガルトを中心として 小松原冨香

時代の「代弁者」としてのポピュラー音楽 戦後

日本の発展において 箕河原周斗

衣服が社会化する 曾根 碧

モダンガールの生き方 田中 結衣

青の勝利 中世における色彩文化の中で

モードの革命とジャポニスム 田邊 優人

木で魅せるインテリア 森田 悠樹

松浦屏風の小袖 横澤 瑞希

春日信仰における鹿の表象 石原 陽

絵柄の流行の法則とはなにか 井上 洸二

化粧と隈取りの関係性とそれぞれの意義 井上 さゆり

犬童 琴乃

色のちから

～日本における流行色～

宇田見彩織

テレビゲームを芸術、または学問として扱う場合

に生ずる問題点

小尾 健悟

二〇〇三年版アニメ「鋼の錬金術師」の舞台に關する考察

金子 優

オードリー・ヘップバーンは、何故ファッション

シンボルでありつづけるのか

フィクションにおける犬の表象

北川菜伽子

重松 花乃

妙見信仰とその凶像から考える異文化交流

竹中 彩香

日本における神話・伝説のイメージ

椅子から見る日本文化の変化

芸術における性規制の根源と大衆意識の変遷

田中 智子

中道 歩未

中村隆一郎

日本における魔女表象の受容

ドールハウスと子どもの遊びの文化

西欧社会における女性イメージの変遷

仏教と現代社会を考える

福岡 楓

光武美砂子

安原 環

～摂食障害自助グループと寺院の関わりを通して～

平山 彩乃

イスラム国に共鳴する人々

女性と共存

天野 秀司

梅田沙也加

組織論

～旧日本軍とアメリカ軍の比較を通して～

阪上 優樹

近代的軍隊の形成

～陸軍士官学校附属予科生徒隊の廃止と世襲的特権の排除～

田中 将太

フェニックス像の形成と象徴

美しくも奇怪な『パンズ・ラビリンス』の世界

ヒッタイト文明と平和条約

地政学という学問の有益性

荻原朔太郎『猫町』論

アイドル多様化がもたらす問題点

谷崎潤一郎『痴人の愛』から読み解く大正時代の女性像

岩田 直子

日本における白塗りの表象と変遷

新堂冬樹『カリスマ』が生み出すリアリティの考察

英国王室のオーガニックへの取り組み

小泉八雲『怪談』における昔話の変容

～「雪女」を中心に～

京都ハンナリーズの観客動員数の伸び悩みについて

「血」に焦点をあてた『ハリー・ポッター』

宮沢賢治作品における善と悪について

国語教科書・教材におけるタブーの考察

後藤亜由美

加藤 美咲

風間 菜

岩田 直子

岩田 直子

岩田 直子

岩田 直子

岩田 直子

一一四

女性差別の改善から生まれる逆差別ーデイズニー

プリンセス映画より

日本の女子サッカーについて

ブームではなく文化にするために

デイズニーランドと茶の湯

～おもてなしのエンターテイメント～

ゲームと刀

～擬人化表現の題材としての刀剣～

各国のサッカーにおける地域性

かわいい文化の犬・日英のペット観を比較して

おもちゃと人との関わりについて

梨木神社の創建経緯と御祭神に関する考察

～なぜ三条実万・実美は神になりえたのか～

出口愛理佳

濟州島

東アジア多文化共生島への展望

肥満大国の苦悩・アメリカにおける貧困と肥満対策

児童文学と回帰性

～モモちゃんとかねちゃんの成長童話を読む～

京都の景観は誰のものなのか

違法ダウンロード問題による影響と今後の対応について

ヨーロッパから見る民俗音楽リバイバル運動の功罪

吉門 大樹

森田 美紅

山本 周

伊藤 駿介

伊藤 駿介

伊藤 駿介

伊藤 駿介

伊藤 駿介

伊藤 駿介

吹奏楽と学校文化

〈部活動が及ぼす影響〉

乾 紘奈

コーヒーの歴史と現在

―カフェの誕生からサードウェーブコーヒーまで―

プッチーニのエリアの分析へラ・ボエームを用いて

河元 望実

ダイエットの低年齢化について

貧困国における児童労働

大嶋 康平

BL(ボーイズラブ)の中のファンタジー

現代日本の女性像

太田 大佑

世界を席卷したビートルズ現象

―女性からみて「魅力的な」女性とは

多田あずさ

女性アイドルにおける「少女」イメージの変遷

列聖の条件とプロセス

平井 由起

ファストファッション

ゴスペルの歴史と変容

松田美樹子

なぜ外資系ファストファッションは成功できたのか

―日本人がゴスペルをなぜ歌うか―

中林由璃子

キャラクターの発展と需要

―マイナー言語保護の問題―

市街化調整区域における住宅地開発の考察

―京都市を対象として―

四方 美希

―キャラクターから卒業しない日本人―

京都における御土居の変化とその役割

大出 春花

舞台と映像

―城崎温泉を事例に―

西川実沙紀

―時代と共に変化する関係性―

―亀岡市と京都市右京区を事例に―

細野 遼太

ラジオから考察する語りの意義

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

着物の発展から見る都市形成

―京都サンガFCと京都市を事例として―

富永 大輔

―京都の街並みを事例として―

温泉を利用した観光地の形成過程と課題

六戸 佑弥

カプチン修道会のミイラ

―土地利用の変化が河川水質に与える影響評価

久保 匠

―その歴史と思想

―土地利用の変化が河川水質に与える影響評価

久保 匠

ホッケーの歴史―日本の現状と課題

―第二次大戦以降の京都市におけるキリスト教会の分布とその変遷

廣司 佳史

ミュージカルR E N T 分析

―耕作放棄地の発生における要因分析と優良圃場確保の考察

前田 歩

―作劇法、社会的背景、日本での受容

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

ガウディとカタルーニャ地方

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

―作品と背景

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

尾崎 由羽

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

久保 匠

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

富永 大輔

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

京都市におけるイオンショッピングセンターの立地と商圈の形態が及ぼす中心市街地への影響

大嶋 康平

ニュータウン建設がもたらす水利構造の変化

―大阪府・千里丘陵を事例に―

太田 大佑

京都盆地における里地里山の変化

―明治期から現在にかけての植生変化に着目して―

門脇 夏美

犯罪不安が住民の居住地選択に与える影響

―京都市を対象として―

佐菅 遼

日本における脳血管疾患死亡の地域的差異と経年変化

市街化調整区域における住宅地開発の考察

―京都市西京区西山団地を事例として―

中村 優介

近隣型商店街における活性化の取り組みと地域との関わりについて

―西新道錦会商店街を事例として―

西田 淳貴

第二次大戦以降の京都市におけるキリスト教会の分布とその変遷

―耕作放棄地の発生における要因分析と優良圃場確保の考察

―静岡県富士市を事例に―

望月 雅也

プロサッカークラブの本拠地におけるまちづくり

―京都サンガFCと京都市を事例として―

富永 大輔

富永 大輔

鉄道高架化による駅前の変容

—J R 阪和線東岸和田駅を事例に— 森 匡由

大阪におけるアジアからのインバウンド観光

秋山 夏海

群馬県片品村におけるスキー観光の衰退と地域の

変容 浅尾 野武

地域ブランド野菜の活用とその課題

—加賀野菜を事例に— 荒木 奈々

工業地帯造成における地域変容および地域経済への影響

—香川県坂出市番の州工業地帯を事例に— 榎原 華子

「山崎の渡し」付近の時代ごとの景観による地域認識の変容についての考察

—大阪府島本町・京都府大山崎、八幡市を対象に— 門田 大

絵図、写真等から見る河川周辺の景観、利用の変遷についての考察

—淀川周辺を事例に— 田中 智郷

京都市左京区大原大見町における廃村問題の経過と現状

前野 太志

阪神間の住宅地における地域的特性

政次 澄紀

近代における鉄道の開通と地域の産業への影響

—静岡県藤枝駅周辺を事例に— 吉野 裕太

郊外型住宅団地における地域住民主導型生活交通

—広島市やぐちおもいやりタクシーを事例に— 池田 浩一

地方商店街の実状と改善すべき問題点

—静岡県富士宮市の商店街を事例に— 小川 寛人

京都市を本拠地とする地域金融機関のレゾナードルと立地展開について

長尾 真平

アニメ聖地巡礼からみる観光循環行動の多様性

—長野県上田市とアニメ映画『サマーウォーズ』の事例について— 新井 望美

高齢者における食料品店の立地傾向からみるフードデザート問題

—京都府亀岡市の事例— 貝沼 美里

若者の言語表現に関する地理学的考察

—関西在住大学生の事例— 鐘ヶ江鷹将

京阪神大都市圏の構造変化

—都心域と郊外核の機能特性に着目して— 木内 奎吾

岐阜市中心市街地の空間構造変化

—「裏通り」空間の動向に着目して— 中村 将徳

京都市におけるマンション立地とジェントリファイケーションに関する研究

—歴史資源を活用した地域の活性化について— 萩原 久弓

歴史資源を活用した地域の活性化について

—摂津富田寺内町における住民意識について— 宮野 梨穂

伝統芸能の活用による過疎地域活性化の可能性

—京丹波町の和知太鼓を事例に— 森 三紗

学校給食における地場産物供給システムについての考察

—伊根町立伊根小学校を事例にして— 山口 広峻

京都市中心部における自転車交通事故の発生要因

—道路環境に着目して— 中村 弘毅

富山市における路面電車の利用者特性

伊藤 淳史

少子高齢化社会の洛西ニュータウンにおける居住者属性と居住環境の変化

田中 美咲

地域ブランドの産地形成過程

—京の伝統野菜「賀茂なす」を事例として— 玉野 彩加

小松市における中心商店街の商業変容とまちづくり

土村 美咲

子どもの遊び空間の世代間比較

—滋賀県甲賀市立雲井小学校を事例に— 中村 響子

犯罪の地理学的見解

—福岡県北九州市を事例に— 平賀 充隆

アニメの聖地による観光の可能性

—埼玉県秩父市を事例に— 猪俣 龍

町並み観光に関する研究

—兵庫県豊岡市出石伝統的建造物群保存地区を事例として— 木村 優司

京町家の現状

—西陣地域を対象に— 武村菜々美

大野市の観光開発

—B級グルメに注目して— 中村 洋人

「歩くまち・京都」へ向けた取り組みについて

—路上駐車と駐車場に着目して— 西渕 博子

滋賀県の開発と観光について

—湖西地域に着目して— 晴山 杏里

奈良県奈良市の観光開発について

福永 夏帆

広がる京都学生祭典

—おどり企画を中心に— 村上 真結

都市観光地における災害発生時の行政の役割と課題に関する研究

—京都市の観光客等帰宅困難者対策を事例として—

山谷 優友

巨大観光都市における商店街振興の方向性

—京都市・新京極商店街を事例に— 和田 渚

アニメ作品「たまゆら」による地域活性化の影響と地域内の活動

—広島県竹原市を事例に— 曾布川彰文

町屋再利用による商店街周辺地域の変遷

—大阪市中央区空堀商店街周辺地域を事例として— 吉川 遥

和歌山県友ヶ島における観光資源の変化

—海水浴場から廃墟へ— 日下部萌香

コスプレイヤーを対象としたフォトスタジオの立地

—大阪市浪速区を事例として— 館谷 佳奈

伝統的祭礼と地域住民との関わり

—大阪府貝塚市地藏堂のだんじり祭を事例に— 田中 誠人

町家を再利用したまちなみ観光の現状

—奈良町を事例として— 戸田 千尋

京町家再生店舗に関する研究

—西陣地区7学区と日影学区を比較して— 西 志津華

門前町における商業空間の変容とまちづくり

—西本願寺門前町を事例に— 桃井 円華

メディアによる観光資源の描かれ方

—なごやめしを例に— 森永 遼

観光地における外国人旅行者への対応

—伏見稲荷大社の商店街を事例として— 山田 千晶

水産加工品に関する土産物の成立

—愛知県豊橋市名産ちくわを事例として— 山本 希愛

オーディエンスの情報発信からみるイベント形態の比較研究

—岡崎ハレ舞台に着目して— 森 達郎

訪日外国人観光客の観光行動

—京都市を事例に— 池本 彬人

着地型観光の現状と課題

—兵庫県篠山市の事例から— 井上 愛菜

スポーツツーリズムの可能性

—京都市での取り組みを例として— 田中 達己

山口県周南市における工場夜景観光の実態と考察

—スポーツ・ツーリズムとアスリートのツーリスト行動— 徳久 由奈

まち歩き型観光が地域に与える影響と可能性

—京都市の取り組みを事例に— 間瀬 文恵

郡上八幡における観光の現状と課題

—歴史的な町並みに着目して— 森田 紗代

日本の酒ツーリズムに関する考察

—京都市伏見区を事例に— 横枕あずさ

日本人の「Serious Leisure」における行動と意識に関する研究

—撮影旅行を事例に— 郭 怡呈

岐阜県高山市における交流の場としてのゲストハウス

—奈良県における観光まちづくりの現状と課題— 石川 貴哉

花街の影とまちづくり

—上七軒を事例に— 河村 紗季

地方アイドルによる観光現象

—北海道観光の現状と課題— 高山 真人

札幌を事例とした考察

—日本の国際観光政策とこれからの展望— 西垣 麻夏

韓国の観光政策との比較、および訪日韓国人観光客に対するインタビューをもとに

—「リゾートアルバイト」にみるホスピタリティ労働に関する一考察— 西島 里咲

テーマパークにおける観光のあり方

—東京ディズニーリゾートを例にして— 水島 花琳

スマートツーリズムの現状と可能性

—奈良県明日香村の体験交流型観光プログラムを事例に— 三原 晴賀

映画『世界の中心で愛をさけぶ』におけるフィルムツーリズムの考察

—香川県高松市庵治町を事例として— 森 あかり

協澤 真理

京都学専攻

近代京都における民衆の防火意識の変遷

— 火災と消防の歴史から —

岡谷 藍

京都市における旅行者と地域住民が出会う観光

— 観光地としての清水界限における変容

山本 万優

夢枕獺の描く『陰陽師』シリーズ

朝井めぐみ

京都におけるプロスポーツチームの歴史

阪口 雅弘

上賀茂における都市化と近郊農業の変容に関する考察

八つ橋論

井上 潤

瓦鍾馗を通して見る京都

杉山美奈子

京都市南区における工業地域の形成

川端康成と京都

大西 一照

虎屋から見る江戸時代と現代の京菓子イメージ

鈴木奈津子

一条の帯、一条の光

— 『古都』を通して —

大西 一照

宿坊に見る京都観光と仏教信仰

田中 優衣

— 西陣織産業の今後のあり方 —

京都とお茶

川嶋 彩

京都六波羅地域の特異性とその受容

橋本 華淑

三柱烏居を中心とした周辺環境の変化

— 宇治茶に着目して —

川嶋 彩

障壁画を有する寺院と絵師の関係性について

長谷川文音

門前菓子が存在し続ける意味

「戯言シリーズ」と京都

菊地 唯生

京都府舞鶴市の地藏盆からみる地域性

岸 優希

— 小学校の統廃合を事例に —

訪日外国人が記した京都

坂本 文香

京都府舞鶴市の地蔵盆からみる地域性

嶽 秋映

— 伏見の観光発展

— 明治期の観光ガイドブックを中心に —

坂本 文香

京都における「伝統」

藤岡 佑梨

— 酒造地区をモデルに —

川端康成と京都

佐々木美苑

京都府舞鶴市の地蔵盆からみる地域性

堀井 涼夏

— 京菓子における「洋風」の必要性

『源氏物語』末摘花論

鈴木 美喜

— 菅原道真のイメージ変遷と戦後の北野天満宮の戦

樋口 祥子

二〇〇〇年代の「舞妓」イメージ

上方落語・江戸落語から見る京都

田代 桃子

— 菅原道真のイメージ変遷と戦後の北野天満宮の戦

山口 瞭介

— 耳塚をめぐる日韓認識の変遷

— 愛宕山を題材とする落語に着目して —

田代 桃子

時代祭が「京都三大祭」に位置付けられた理由

山口 瞭介

— 国際コミュニケーション専攻

京都の喫茶店文化

鳥山 結貴

小京都の形成過程と近年の動向

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

加賀友禅

土井 志織

— 全国京都会議の加盟状況に着目して —

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

— 京友禅と比較して —

土井 志織

— 京友禅と比較して —

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

漬物に未来はあるのか

中村 夏菜

— 全国京都会議の加盟状況に着目して —

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

— 京漬物を中心に —

中村 夏菜

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

京都と八ッ橋

森本 早紀

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

南北朝時代に於ける〈天狗〉の跳梁と民衆の想念

山本 修人

京都市伏見区における酒造業の変遷とその考察

鈴木 京

— 京菓子における「洋風」の必要性

京都に於ける建物疎開

山本 修人

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

— 戦災の視点から・五条通を軸に —

高井 千幸

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

京都市民の近代建築に対する価値評価

上田 莉穂

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

— 医療関係の用途から —

上田 莉穂

— 京菓子における「洋風」の必要性

山田 真実

— 京菓子における「洋風」の必要性

- The Use and Merits of Computer Assisted Language Learning (CALL) Materials for Japanese University Students 後藤みさ子
- Japanese Student's, Contact with the Target Language While Studying Abroad 佐藤安莉沙
- The Effects of an English-learning Application Software for Smartphone on Motivation 塩谷 健太
- The Relationship between Understanding the International Phonetic Alphabet (IPA) and Beliefs of Prospective Teachers' Pronunciation Teaching 中華 陽一
- Short Term Study Abroad and Confidence in Using English 西村 萌
- Japanese University Students' Communication Apprehension while Speaking in English 原 沙織
- The Effects of Pre-Task Planning on Discussion Performance 福原 里佳
- The Relationship between Japanese University Students' International Posture and Their Social Networks Constructed during Study Abroad 山盛有希子
- The Change in University Students' Self-Efficacy to Speak English Through a Short Period of Shadowing Practice 中田 睦子
- Working Poor Problems of the Restaurant Industry in the United States, from the 1960s to Today 井出 千陽
- Asian Americans as "Model Minority" in the United States 内海 早紀
- Two Japanese American Artists, Yasuo Kuniyoshi and Isamu Noguchi: Their Struggles and Success beyond the Ethnic Enclaves 清水 彩加
- Mormons' Efforts for the Widespread Acceptance without Losing Their Uniqueness in Salt Lake City, Utah 塚本 理恵
- The Assimilation Policies of Native Americans into the Mainstream Society of the United States 原田ひさ子
- Pizza as "American Food": Italian Immigrants and Eating Habits of the United States 細川 彩
- How to Decline the Number of Crimes in New York City in the 1990's 松岡 理沙
- Jim Crow Law: the Relations between the Racial Segregations and African Americans in Southern States of the United States 松本有岐子
- Comics Code in the United States, 1954-2011 屋良絵理奈
- Four Types of Fairytale Female Heroes 沖村茉衣子
- Bob Marley and His Message in His Music: Spiritual Freedom in Marley's Lyrics and Performance 川崎 碧
- The Inquiry of Heroic Elements of Outlawed Robin Hood 柴田 明希
- A study of Lafcadio Hearn: His cross-cultural understanding of Japan 瀬 和成
- Miles Davis in Kind of Blue: Giving Jazz a Dignity 中谷 可惟
- Muddy Waters and His Delta Sound: The Roots and Identity of His Blues 西田 龍哉
- A Study of the Otherworld in Irish Folktales 西山 沙緒
- Fairy Tales as Mirrors to Reflect Women Traits: A Study of Angela Carter's Collection of Fairy Tales 堀内 裕
- A Study of Margaret Atwood's Novels 松原由希子
- A Study of The Lord of the Rings 宮本 晶
- A Study of Ray Bradbury's The Martian Chronicles: Bradbury's Social Criticism and Fantastic Elements of the Work 弓場 彩子
- A Study of Peter Pan 藤井めぐみ
- The Construction of Utopia in Lois Lowry's The Giver 安藤 愛
- Growth Of Arren in Ursula K. Le Guin's, The Farthest Shore 延壽寺海人
- Death of Dr. Jekyll in The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde 酒井 結衣

- Gender in The Wizard of Oz 松尾香奈子
 Study of Subjectivity in *Weetzie Bat* 山本 奈穂
 Relationships between adverbs and prepositions 黒澤 萌
 Movements of Prepositions in Relative Clauses 福田万希子
 A study of English grammar from the point of view of "perspective" 吉垣内美穂
 The Importance of Preschool Education in Countering the Unequality of Social Class 伊藤 澄佳
 The Gender-Equality in Japan: A Comparative study of Japan and the EU 上野 晴菜
 Rise of Fish and Chips in Britain: Crisis of Food Hygiene from the Nineteenth Century to the Twentieth Century 小田麻田香
 The Impact of Intercultural Experiences on Personal Growth: A Case Study of Ritsumeikan University Students 小野友利花
 Born Global Company and Local Culture: Terra Motors in Southeast Asia 甲平 拓斗
 Forms of Masculinity in Britain: A Study of Three James Bond Films 小谷 遙
 Food Safety and Consumer Behavior in Japan: Choice to Eat Imported Food and its Safety 富樫 晋平
- The Globalization of "Boys' Love" and the Global Development of Yaoi Fan Cultures 富田 薫子
 Toward a Multicultural Society: Perspectives of Japan's "Newcomer" Immigrants 沼田 菜摘
 Internationalization of Universities in Japan: A Case of Ritsumeikan University 服部 亜有
 Chinese Perception of Japanese Culture As Seen by the Acceptance of "Akamojikei Fashion" among Young Women 林 佳奈子
 Worker's Mind Changes Workstyle: A Case Study of Japanese Company, Kifuku Co., Ltd. 三谷 佑佳
 The Promotions for the Diversity in the United States: The Purposes of Multicultural Education 森本 実咲
 Empowerment and Education in Northern Africa: From the Perspective of Quality of Life 坂本 美波
 Intrinsic Motivation and Extrinsic Motivation of English Learners 石田 美咲
 The Relationship between Intercultural Communication Contact and Willingness to Communicate 大西由希子
 Influences among School Years on Motivation toward Learning English 厨子 准哉
- The Influence of Extroversion and Willingness to Communicate on English Test Performance 中ノ宮真実
 Japanese Student's Perception of English as World Englishes 本郷 未紗
 A Retrospective Examination of Japanese Students' Motivation and Demotivation in the Classroom 松尾 彬
 Japanese Language Learners' Motivation: Comparing Two Groups 溝田 笑花
 Investigating the Causes of Speaking Anxiety 森田 秋子
 Learning Styles in Japan: How Areas in Japan Influence Students Learning Styles and Progress 八木 賢造
 The Change in Motivation of Korean Language Learners 佐竹 汐莉
 現代中国へのジェンダー観
 流行語としての新語の考察を通して
 クリスタ・ヴォルフとシミュタージ
 IMは必要悪だったのか
 近代日本の多文化共生 鈴木 楓
 明治期のキリスト教受容に着目して
 社会主義国家ベトナムの同性愛
 否定から容認の時代へ 土屋智一朗
 消費者がファッションを作る
 SNSによる情報の発信をめぐって 長通 実佳

対話型バラエティ番組のオープンコミュニケー

ション構造とパーソナリティ

～マツコ・デラックスは今の時代に何を求められて

いるのか?～

四方葉々美

自撮りと自意識の関連についての実験的検討

白崎 理子

「なう」の用法と時間性

～Twitterを用いた言語研究の一例として～

田附 佳子

漫才におけるおかしみを生むズレ表現の類型とそ

の特徴

田所 義朗

トートロジーの語用論的再検討

—言い換えの実現可能性を中心に—

戸嶋 宏太

「自然な演技」をするための意識の分散

中山まりあ

女子大学生の服装への意識と自己開示の関係

近藤 知美

対話場における過度のアイコンタクトと思考の

関係

納富友紀乃

卓球の指導場における指導発話の言語的分析

～コーチの指導歴と指導対象の性差に着目して～

原田 瑞希

二者間の発話速度の差が説得効果に与える影響

前川 朋也

スタイルシフトの成否を左右する発話指向性

～文末表現のない丁寧スタイルの観察から～

榎井 麻里

小説における会話の表現方法に関する考察

—台詞が地の文に含まれている場合—

矢田 朋子

多人数飲食場面における会話の分裂と統合を導く

言語・非言語的要因

八藤丸亜也

相槌の韻律情報に基づく印象変化の考察

山田 愛実

指導者の経験値と発話構成の関係性

～アルペンスキーマのコーチング場面の観察から～

岩城 有紀

小説『後ろのきみ』

—自己肯定をテーマに少女の成長を描く—

天野久美子

小説『少女』の制作

—日本統治時代、朝鮮で生まれた日本人少女の気づ

石田 晶子

きと成長—

泉 杏奈

宮沢賢治童話『銀河鉄道の夜』と映像化の比較

—セリフ表現より読み解く—

泉 杏奈

日本の端艇における艇運搬時の掛け声について

～米子東高等学校端艇部から見る掛け声の変遷～

亀井 瞭

キャッチコピーにおける遠回し表現

『窮人』

桑原 梨紗

—人間の深層心理に隠れている狂気を描く

重成 俊亮

17歳の揺れ動く心情の変化を描く小説『キャバ・

クラ』の創作

—学園祭の模擬店でキャバクラを出店するか否かの

会議を通して—

清水 優

生きづらさを描く創作小説『オートマテイクプ

ルー』 鳥越 優菜

雨月物語『菊花の約』

～ジャパニーズホラーからアメリカンホラーへのリ

ライト～

小説「そして、少年は歩こうと思った。」 野 貴裕

—戦時下の若者の姿を通じて、現代の少年が今を生

きる大切さを見出す物語—

観光旅行のキャッチコピーにおける表現技法

—女性を惹きつける工夫とは—

平野 智章

小説『あめかひよりか』

—夢の持つ心理学的意味と文化的意味—

村上 恵梨

小説『永遠の一時』

—記憶障害の女性とそれを支える男性の四季の物語—

藤原 祐葉

マンガにおける物語構造の重要性とは

—手塚治虫『ブッダ』の分析—

山口 夏実

インターンシップを行う留学生のためのコミュニ

ケーション教材

—キャンパスアジアプログラムの留学生を対象—

宮内 智大

日本語上級者の使用傾向の高い学習ストラテジー

留學生のための部活・サークルに必要なソーシヤ

ルスキル教材開発について

—立命館大学衣笠キャンパス対象—

新垣 秀治

打越 楓

岡本 麻美

榎井 麻里

清水 優

藤原 祐葉

村上 恵梨

平野 智章

野 貴裕

鳥越 優菜

石田 晶子

泉 杏奈

亀井 瞭

「江西财经大学日本語学科のための日本語多読多

聴―日本人中国語学習者のための中国語訳+音

声付―」テキストの制作 近藤 健一

中国語を母語とする日本語学習者の格助詞習得に

関する一考察 櫻井 恵理

―日本語能力の差による誤用傾向の比較を通して―

親しい関係における不同意表明に関する一考察

―大学生を対象にして― 澤村 愛実

留学生のための部活・サークルに必要なソーシヤ

ルスキル教材開発について 庄司 友里

―立命館大学衣笠キャンパス対象―

留学生のための部活・サークルに必要なソーシヤ

ルスキル教材開発について 中村 華

―立命館大学衣笠キャンパス対象―

韓国語学習者に対する効果的な漢字学習

林 ありさ

日本のPOPカルチャーと日本語学習継続の関係

について 針尾 瞳

インターンシップを行う留学生のためのコミュニ

ケーション教材 四谷 歩

―キャンパスアジアプログラムの留学生を対象―

ピア・サポートにおける支援対象者の学校生活適

応度の検討

―ピア・サポーターの人間関係に焦点を当てて―

小林 智裕

国際理解と実生活での外国籍保有者との接触経験

の関連 柴 由季子

大学生における原因帰属傾向と自尊感情の関連

―集団奉仕バイアスに着目して― 杉浦 瑠

大学生の学習意欲向上における支援的笑顔の効果

―三段論法課題を用いて― 安田 理紗

「校則・規制」に対する高校生のストレス反応低

減に効果的な対処の検討 山田 透子

―問題焦点型コーピングの観点から―

関係性継続の予測が初対面場面でのコミュニケー

ション行動に及ぼす影響 吉村 奈々

大学生が持つ独立意識と子どもに対する養護性の

関連 加藤さくら

幼児への感情表現に関する教示が描画に与える影響

喜多美和子

保育施設におけるピュツフェ形式での幼児の食物

選択行動と保育者の介行動の縦断的研究 木下 香織

幼児の砂遊び場面における道具の役割

―保育施設での行動観察による検討― 坂田 美幸

幼児期の子育てにおけるメディア依存度が養育者

と子どもの社会的関係性に与える影響 鷹阪 萌子

家庭環境が幼児と絵本の関係性に与える影響

土手下菜穂

保育施設での絵本の集団読み聞かせ場面における

自己調整機能の発達 中川 華奈

幼児のきょうだい関係が食嗜好に与える影響

西村 由衣

保育施設における幼児の抱きしめ行動と養育者と

のアタッチメントの関連 樋爪 萌子

幼児の絵画制作における素材が創作意欲に及ぼす

影響 連 有佳音

―色紙と落ち葉の比較をとおして―

唾液アミラーゼによる幼児のストレス評価

―ジエンガを用いた対戦場面による検討― 横手 理

大学生ラグビー選手における心理的競技能力につ

いて 井上 健祐

大学生におけるあいまいな攻撃に対する解釈と対

処行動 上田 彩乃

―表現スタイルとの関連―

ジェンダー・タイプによる職業価値観と結婚観の

違いの検討 上田 若奈

親性準備性と幼児の声に対する反応との関連

圓城寺桃子

体育会における対先輩行動

―団体競技、個人競技の比較― 太田 有美

中学生の生活満足度に対する学校生活スキルと自

己価値の関連 興津 麻美

心理学専攻

グループワークと個人学習に関する学習目標達成

能率の比較 鄭 恵允

高齢者の注意機能と主観的注意経験との関連

河上 実樹

高齢期における言語的枠組み機能の検討

清水千由希

大学生の犯罪不安と防犯意識について

―批判的思考態度とネガティブな反すうとの関連―

清水 稜

大学生からみた親子間の呼称と心理的離乳

原田 大路

大学生の友人関係における切替と諸要因との関連性

藤井 雅也

サッカーのサーヴェイ的視点と心的回転能力の関連

家城 雄大

情報が与える非行少年に対する印象変化の検討

犬飼まどか

不登校児を持つ親の価値観変容過程

太田 文梨

父子家庭における父親が直面する困難とその支援

岡田紗弥香

非行少年を抱える家族の関係性について

―両親の語りから―

小山田真理子

乳幼児をもつ共働き夫婦の家庭内役割分担からみ

る公正概念の検討

鎌谷有紀子

職員に対する児童養護施設入所児童の暴力につい

ての一考察

―児童養護施設でのフィールドワークを通して―

遠田 勇介

両親に対する意識変容と自己の人生選択のプロセス

馬場 加奈

大学生の部活動によるストレスとその対処法

松本佳緒莉

大学生の相談行動に関する研究

―被相談者の想いと対応に焦点を当てて―

安田裕美子

いじめ被害者

―加害者間の立場転換とその対応策の研究―

田淵 友里

犯罪被害を支援する人への支援方法の考察

―活動継続要因の構成過程に着目して―

大迫元祐希

児童期の学級適応感と母親の養育態度との関連に

ついて

―自尊心感情及び自己効力感に着目して―

唐津 麻樹

友人関係による心理的ストレス反応と性格の関連

の検討

―青年期のグループ行動に着目して―

田村 友里

大学生における自己愛傾向と心理的 well-being

の検討

寺畑 華奈

大学生の一人暮らし経験を通じた心理的变化とそ

の関連要因

―自立・親子関係に着目して―

西村 美紗

小児慢性疾患患児のきょうだいの心理的体験

―同胞の病を自分の人生に組み込んでいくプロセス

に着目して―

早川真桜子

男性同性愛者のカミングアウトに関する質的検討

―性的指向の自己受容に着目して―

林 陸

「食事場面に對する役割認識」の形成過程

―大学生を対象とした経時的変化の質的検討―

増田 桜子

非教職志望者の教職課程履修経験の意味づけ

―進路選択・決定に着目して―

松浦明日香

青年期のきょうだいの関係が自己受容・他者受容に

与える影響

―自尊心感情および生き方志向を媒介として―

山中 美穂

高齢者施設における SEIQOL を用いた利用者の

QoL 評価の検討

―複線径路・等至性アプローチを用いた美白化粧品

由来の白斑様被害の研究

今飯田佳世子

東日本大震災被災者困難者の展望的未来に関する研究

―福島県笹谷東部仮設住宅のフィールドワークから―

開原 里奈

中年期女性を対象とした閉経の有無による身体満

足度と更年期への意識調査

國嶋 絢香

抑うつ状態の人物の薬の服用に対する偏見及びス

ティグマの研究

―大学生を対象とした質問紙調査による検討―

津田 菜摘

女性ムスリム留学生の日本生活における困難

―構造と関係性に着目して―

中岡 愛理

TEM を用いた有罪判決事件の供述心理学的検討

―姫路事件について―

中村 康平

目撃証言における「見た」に伴う修飾語の違いが
裁判員候補者の信用性判断に及ぼす影響

原 業帆

事件当事者の発達障害に関する情報が大学生の量
刑判断に与える影響の検討

東谷 真帆

ビラ配りのマイクロエスノグラフィ

山地絵里加

—配布成立場面に着目して—

ある感情状態に適した音楽と適さない音楽の聴取
によって喚起される感情について

岡寫 英司

異性愛者の自尊心が同性愛者に対する態度に与え
る影響

古川 千尋

大学生の学業的延引行動についての考察

山下 祥平

認知的負荷が高い単語記憶課題において照明の色
温度が同調行動に及ぼす影響

上田 昇

大学生の友人関係における自己開示・他者からの
開示と孤独感の関連

高倉 佑実

大学生における仲間集団内での役割と満足感

寺田 涼太

自己卑下・自己高揚人物の好意度評価に他者から
の好意度が及ぼす影響

内藤 瑞貴

仮想的有能感をもたらす返報意識への影響

中村 美咲

大学生におけるシャーデンフロイデの喚起に及ぼ
す特性要因の男女間の比較

藤岡 駿

大学生における対人関係とパーソナリティの関連性
—類似性と相補性について—

村松 和季

かな文字の触識別について

笠木 想

騒音とその種類が及ぼす知能活動への影響について

藤井 彰宣

提示間隔条件が再生・再認に及ぼす影響

片島 秀泰

方向知覚における腕の順応効果

金田 崇志

説得者の信頼性によって変化する言葉の概念

坂田 彩乃

—認知的不協和理論による解釈—

山本 寛治

首の位置感覚の順応

尾花 優輔

大学生における基本味感度の実験的研究

川村 京美

将来的ビジョンの明確性がポジティブイリュージョ
ンとセルフモニタリングの効果を操作するか

小林由加子

大学生のストレス対処能力に関する一考察
—現在までのスポーツ活動経験に注目して—

柴田 康隆

大学生の友人関係における現実と理想の心理的距
離と評価懸念および恐怖の心性の関連について

田中菜三子

大学生における親子相互間の呼称と子どもの愛着
態度の関連

渡邊麟太郎

集団同一視及び家族機能が青年期の特性・状態自
尊感情に与える影響

久川 墨聖

現代の大学生と社会人の抱く孤独感の比較

奥田 彩

男子大学生と化粧についての心理的考察
—化粧関心・化粧行動と人物・メディア接触との関
連性—

サンクコスト効果の新たな解釈

楠本 文哉

—日本人の「もったいない」感情からの考察—

先延ばし行動と認知的フュージョン、価値の満足
度との相関関係について

谷本 啓行

アクセプトランス&コミットメント・セラピーを用
いた学習塾生徒の学習関連行動の拡大

中塚 優介

パースペクティブ・テイキングが曖昧性の選択に
与える影響

納屋 忠之

—「もしあなたが○○だったら」を使って—

Child and Adolescent Mindfulness Measure

平松 祐佳

日本語版作成の試み

日記から見る聞き手を自身とする言語行動の影響

深田 隼希

マインドフルネス筆記体験が大学生の主観的健康
に及ぼす影響

南 大貴

自己愛とその確信度が進路決定の自己効力感に及
ぼす影響

宮本 沙季

役割行動における学習の効果についての検討

—俳優の演技アプローチからの考察—

森田 深志

商品情報のあいまいさが消費者の購買プロセスに
及ぼす影響

—行動分析的知見からの考察—

永倉 達朗

体重の測定頻度が及ぼす行動随伴性の形成と体重
の変動について

岸本 将英

大学生のダイエットにおける食費記録の有効性について
池田 美咲

タバコのポイ捨ての減少方法の検討
小野 美咲

少女柔道の自己分析ノートによる投げ数とかけ数における効果
喜多 京子

大学生におけるランニング行動の強化
木元 議宣

個人・相対データの開示とLINEの応用性検討
木元 議宣

男子大学生におけるセルフモニタリング法を用いたスマートフォン依存に対する効果の検討
古池 峻輔

大学生における積極的休養が及ぼすパフォーマンス向上と疲労回復効果
関 真理子

少人数授業において授業活性化を生む諸変数の検討
種田 千廣

LINEを用いた日常生活の身体活動量の維持・増加
伏井 彩

喫煙におけるセルフコントロール
元木 凌矢

柔道の寝技技術向上のための行動的コーチングの効果
八木 絢圭

心配が作動記憶課題の遂行に与える影響の比較検討
岩野 剛裕

—Probe Digit課題およびMissing Digit課題を用いて—
園田 好香

連続呈示された顔画像の好悪判断に評価順序が及ぼす影響
園田 好香

Imaginary Companionの存続期間と人間関係の形成について
韓 成萬

反すうの遅延課題が大学生に与えるポジティブな影響についての検討
山田 友海

駒の価値が意思決定に及ぼす影響
小川 陽平

ゴッホの絵画における色の変化が絵画印象に与える影響
松山奈々穂

開口形状と笑顔の印象
生田 祥子

好まれるチョココレートパッケージの配色について
榎田 悠斗

文章の難易度とディスプレイ上の背景色による記憶成績の違いについて
嶋貫 莉子

視覚的補完を利用したイラストの見え方
高橋 沙耶

誘導的な説明が記憶に及ぼす影響
中橋 美保

有彩色照明がVDT作業効率及び心理に与える影響
野村 堯弘

活動における楽しさが災害発生時の危険認知に及ぼす影響
松岡 快浩

性格特性の違いが占いへの信頼性に及ぼす影響について
丸岡 美穂

人間の記憶がカクテルパーティー効果に及ぼす影響
森 みずほ

「笑つてごまかす」ことは可能か
森口 真羽

電子ブレインストーミングにおけるシャイネス軽減
市村 益穂

—ゲーミフィケーションを用いた検討—
市村 益穂

ネガティブなネット口コミがポジティブな効果を発生させる心理プロセスについて
梶原小百合

擬人化対話エージェントのデザイン検討
北村 文乃

—デフォルメ表現と身体性が及ぼす影響について—
北村 文乃

香りによる覚醒が思考に及ぼす影響のメカニズム
崎本 千波

協同問題解決における視点取得に関する実験的検討
佐藤 翼

コミュニケーションを促進する音声チャットシス
杉山 孝介

Temの検討
杉山 孝介

制約事項の増大が自尊心に及ぼす影響
平井 一成

—テキストマイニングによる検討—
平井 一成

Webページと広告の関連性が注意・記憶・商品評価に与える影響
増井 成美

—眼球運動の測定から—
増井 成美

オンラインゲームを利用した疑似体験による異性不安低減アプローチの検討
山中真生子

—対面条件との比較を通して—
山中真生子

睡眠が展望的記憶課題成績に与える影響
伊藤 昂大

決定論的状况における自由意志信念と行為者・観察者バイアス
北野 廣平

自己正当化が衝動買いに与える影響
近藤 舞実

顔の特徴情報処理の顕在性による既知性判断の違い
佐久間紘樹

色彩によるストレス緩和効果に色彩嗜好が与える影響
谷総祐太郎

化粧に対する自己評価と他者評価の乖離と自己愛の関係
寺田 悠希

方略に関するメタ認知が成績や満足感に与える影響
 中川 善裕
 小・中学校教師が抱えるストレス及びスクールカ
 ウンセラーによる支援方法の質的比較
 吉川 琢真

擬人化エージェントの動きが説明の理解度と印象
 に与える影響…人間の場合と比較して
 広垣友里絵
 大学生における強迫傾向についての検討
 ーバウムテストとの関連からー
 馬 珊瑚

文字の非流暢性と記憶成績…個人特性の検討
 宮川 法子
 友人関係で孤独を経験した大学生の心理的過程
 ー高校生時代の語りからー
 草野 雄冬

周辺情報と内容情報が説得と満足度に及ぼす影響
 山田 知佳
 テーマリサーチゼミナール

バイリンガルの言語能力と虚偽記憶
 ーDRMパラダイムを通じてー
 金 恵仁
 グラデーションによる錯視
 江岸 卓哉

贈与動機の違いによる商品の希少性の購買意欲へ
 の影響
 上野 和馬
 人間錯視
 大竹 広倫

がん体験者のレジリエンスの様相がんの治療後
 に再発の可能性を抱えながら生活するがん体験
 者のインタビューから
 大森 美恵
 ユニホームによる見え方の錯視
 土居 文香

不登校の児童に対して教師が行った支援方法
 川島みなみ
 野球を通じて見えてくる錯覚
 四十谷 慎

投影ドラマ法を用いた怒り表出体験が怒り感情表
 出の制御に与える影響
 阪谷 大志
 野球のスイング動作における錯覚
 上野山奨真

親子の絵本共有による相互作用と親の意識
 ー父親・母親それぞれの視点からの検討ー
 竹中 里奈
 錯覚の視点を交えて
 西川 大地

女子大学生における瘦身願望と過剰適応、および
 ストレス感との関連
 田中 伶奈
 錯覚の視点を交えて
 山市 真也

就職活動を通じた進路決定における心理過程
 ー新規卒業生の語りを通してー
 山田 雄登
 The Hong Kong Democracy Protests:
 Whereabouts of the Young Generation
 小迫としか

The Unwanted Ethnic Minority: The Rohingya
 Situation in the Bengal Bay and Andaman
 Sea
 KONGSKON, Benyapha

Political Integration Levels of Japanese
 Migrants (Shin-Isssei) into American Society:
 Impediments from Japanese and American
 Side and the Results
 末次明日菜

近代から戦後における御土居と周辺の街の変化に
 ついて
 ー京都市西部を中心にー
 堀 智晶

近代京都の区画整理事業による市街地変遷に関す
 る研究
 ー京都市北西部地域を中心にー
 山本 峻平

音象徴の独立性に関する検証
 小笠原史織

イギリスにおける階級と英語の関係性
 ー映画における／r／の発音を通してー
 鹿島 遙光

映画 Mrs. Doubtfire (『ミセス・ダウト』)にお
 ける字幕の分析
 ー省略される要素とその要因ー
 齋藤 夢実